

## 東京「神楽坂」と高層マンション

掲載した4枚の写真は、昨年3月に東京に行った時に撮ったものである。前から神楽坂というところに興味があり、また新聞で高層マンション問題の記事を読んだこともあり、山手線の飯田橋で降りて訪ねてみた。



神楽坂という地名のように緩やかな坂になった街であり、午前中ということもあり人通りは多くはなかった。店構えからして夜には多くの人で賑わう感じだ。できれば夜の神楽坂にも訪ねてみたい。

通りから横丁の細い路地に入ると、小料理店が軒を連ねており、夜の賑わいを感じさせる。そうした路地から超高層のマンションが見えてきた。これが新聞で見たマンションだと、すぐにわかった。まったく街の景観にそぐわず、巨大な建物が聳え立っている。なんだか悲しくなってきた。古い歴史をもつ神楽坂、今も坂と路地を中心にした街並みが印象的だが、こんな建物がなぜ建ってしまうのであろうか。



バブルからバブル崩壊、そして「都市再生」という名のもとで進められている再開発。こうした時代の流れとともに、なにか大切なものが失われていくのではないか。



昨年に撮った写真を見て、なにか複雑な気持ちになった。でも、夜の神楽坂にもまた行ってみることにしよう。

(2月15日 記)